

キュリー夫妻ラジウム発見
100周年記念事業について

キュリー夫妻ラジウム発見

100周年記念事業

事業計画書



財団法人 癌研究会

キュリー夫妻ラジウム発見100周年記念事業委員会

ホームページ <http://www.jfer.or.jp/Ra100/>

事業計画書

事業期間；1998年1月～12月

目次

-
1. 趣意書
 2. 事業概要
 3. 事業内容
 4. 年間計画
 5. 予算案
 6. 記念事業委員会組織図
 7. 委員名簿
-

事務局

〒170-8455 東京都豊島区上池袋1-37-1

(財)癌研究会・附属病院 山下 孝

専用電話；(03)5394-3956、専用FAX；(03)5394-3957

電子メール；ra100@jfc.or.jp

ホームページ；<http://www.jfc.or.jp/Ra100/>

(1998年1月14日)

趣意書

1898年にキュリー夫妻がラジウムを発見してからまもなく100周年を迎えようとしています。私どもは、これを記念する事業を行おうとしておりますので、本事業の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りたいと存じます。

19世紀末は、放射線と放射能の大発見の大変エキサイティングな時代でした。1895年にはドイツの物理学者レントゲンがX線を、翌1896年にはフランスのベクレルがウラン放射能を、そして、1898年にはパリにおいて、ピエールとマリー・スクロドフスカのキュリー夫妻がウラン鉱石から新元素ラジウム放射能を発見しました。これらの業績により、レントゲンは1901年に第1回ノーベル物理学賞、ベクレルとキュリー夫妻は1903年にノーベル物理学賞の栄誉が与えられました。キュリー夫人は夫ピエールの不幸な事故死後も、ラジウムの研究を続け、1911年にはノーベル化学賞の栄誉にも浴しました。

ラジウムから放出される放射線には強い生物作用があるので、20世紀初頭から積極的にがんの治療に利用されてきました。パリ、ストックホルム、ニューヨークで発展したがんのラジウム治療は高い評価を得ました。我が国でも1934年にがん専門の(財)癌研究会附属病院が設立された時に、(財)三井報恩会から5000ミリグラム(5キュリー)もの貴重なラジウムの寄贈を受けて、我が国におけるラジウム治療を開始し、多くのがん患者さんを救ってきました。

キュリー夫妻の放射能の研究はその後の原子核物理学、量子化学、分子生物学等の現代科学発展の基礎となりました。その結果として、一方では、第2次世界大戦中に原子爆弾が開発され広島・長崎の悲劇を生みましたが、他方、戦後に開花した原子力とアイソトープの平和利用の基礎となりました。このように、キュリー夫妻の業績なしには、20世紀の科学を振り返ることは出来ません。

私達は、次の3つを柱として、キュリー夫妻によるラジウム発見の100周年を記念する事業を展開しようとしております。第1には余人にはなし得なかった女性科学者、キュリー夫人の偉業を再認識し、キュリー夫人の真摯な生き方と科学と人類への情熱に学びたいと思います。第2にはキュリー夫妻の発見したラジウムが、癌の治療を始めとしてその後の放射線の医学利用、さらに、広くは、原子力の平和利用の先駆けとなったことを称えたいと思います。第3には科学離れが心配されている次の時代を担う若い人々に、キュリー夫妻が示した科学の価値と倫理の重要性を再認識してもらいたいと考えます。

この趣旨をご理解の上、この事業へのご協力を賜りたくお願い致します。

財団法人 癌研究会

1997年9月

キュリー夫妻ラジウム発見100周年記念事業委員会

会長 中尾喜久 (日本アイソトープ協会会長、自治医科大学名誉学長)

組織委員長 山下久雄 (慶応がんセンター名誉所長、元慶応大学教授)

事業概要

期 間 1998年1月～12月

主 催 (財) 癌研究会
キュリー夫妻ラジウム発見100周年記念事業委員会

共 催 (社) 日本アイソトープ協会

後 援

科学技術庁放射線医学総合研究所

関連省庁：

文部省、厚生省、科学技術庁
フランス大使館、ポーランド大使館

関連学会：

日本医学放射線学会、日本核医学会、日本放射線腫瘍学会
日本医学物理学会、日本放射線技術学会、日本核医学技術学会
日本癌学会、日本癌治療学会、日本放射線科専門医会、
日本物理学会、日本応用物理学会、日本化学会、
日仏医学会、日仏放射線学会、
日仏理工学会、日仏癌研究協力事業委員会

協 賛

関連団体：

(財) 日本科学技術振興財団、
(財) 原子力文化振興財団、
日本女性科学者の会

関連会社：

放射線機器工業、医薬品業界、アイソトープ業界、
原子力産業、電力産業、新聞各社、TV各社

事業内容

1. ロゴマークとポスターの作成

ラジウム発見100周年のシンボルマーク（表紙参照）、及び、ポスターを作成して、一般の方も含めて広くアピールする。

2. 「ラジウム治療の歴史」の資料作成

癌研究会附属病院を始めとして、我が国でのこれまでのラジウム治療の歴史をまとめ今後の資料とする。関連機関にも配付する。

3. 記念論文特集の編集

キュリー夫妻によるラジウム発見が現代科学と医療にもたらした恩恵は計り知れないものがある。その観点から、記念科学論文を「放射線科学」、「癌の臨床」、「臨床放射線」、「放射線医学物理」、「化学と工業」、「化学と教育」等の学術雑誌に掲載していただく。これらをまとめた論文集を作成し、ホームページにも掲載する。

4. 記念ライブラリービデオの作成

キュリー夫妻によるラジウム発見によりもたらされた現代科学、特に、医学の発展の軌跡をビデオ映像を通じて一般の方にもわかりやすくアピールしていく。

5. 新書版「ラジウム物語」の支援

元癌研究会癌研究所物理部長の尾内能夫先生に、ラジウムの歴史について執筆を支援する。これにより、広く一般の方々にキュリー夫妻の偉業を認識してもらう。

6. 小冊子等の広報資料の作成と配布

キュリー夫妻によるラジウム発見の偉業と現代科学と技術との関わりを分かりやすく解説したフランスの100周年記念委員会のリーフレット「Radioactivity」の日本語版小冊子を作成し、広く一般の方々に配布する。その他、教育用OHPシートの作成、展示用パネルを作成し、協力機関に配付する。

7. インターネットホームページ (<http://www.jfcr.or.jp/Ra100/>)

インターネットホームページを開設し、キュリー夫妻によるラジウム発見100周年記念事業を広く認識してもらう。

8. 学会における記念事業の支援

本事業を後援していただく関連学会において、年間予定表にある都市で、学会関係者、及び、一般市民を対象に、記念講演会やセミナーを開催していただく。当委員会で作成した資料を活用していただく。

9. 関連する記念事業との協力

「日本におけるフランス年」の事業、ワルシャワ（ポーランド）の姉妹都市の浜松市の「キュリー夫妻科学展」、科学技術館による「ラジウム週間」、三朝温泉の「キュリー祭」、及び、放射線教育フォーラム、原子力文化振興財団等の関連事業と協力して、広く一般の方々ならびに関係者を対象にキュリー夫妻の偉業と、夫妻が示した科学の価値と倫理の重要性を再認識してもらう。当委員会で作成した資料を活用していただく。

10. 報道関係による特集記事の依頼

新聞、TV等のマスコミを通じて、キュリー夫妻の偉業を広く一般の方々に再認識してもらうと同時にキュリー夫妻の真摯な生き方と、科学と人類への情熱について、現在の日本と照らしながらアピールしていく。

11. 共同通信による地方紙への配信

日本において、キュリー夫妻によるラジウムの発見がいかに現代医学を発展させてきたかを、実際の医療現場からのレポートを中心とした記事にまとめる。

12. 記念講演会と記念式典

本記念事業の開始時（1998年1月）に発会式、1998年10月には、日仏理工科会との合同講演会、締めくくりとして1998年11月にキュリー夫妻によるラジウム発見100周年の記念式典を行う。

年間計画

1998年

- 1月 <記念ビデオ「キュリー夫妻 Rn発見と医学利用」完成> (500部配付)
<新キュリー夫妻伝記映画のダイジェストビデオ版完成> (関連事業に配付)
<記念テレフォン・カード用意(1000枚)> (必要に応じて増刷)

14 (木) 記念事業発会式 (東京・神田 学士会館, Ra100 事業委員会)

<Rn100ホームページ(第2版) URL=<http://www.jfcr.or.jp/Ra100/>>

- 2月
9 (月) 原子力総合シンポジウム (東京 学士会館)

- 3月 以下の資料を作成し、記念事業の展開に活用してもらおう。
<「ラジウム100年と医学応用」展示パネル、パンフ作成> (展示資料)
<「放射能」(フランス記念委編)パンフ日本語版作成> (20万部作成予定)
<Rn100記念事業ポスター作成> (希望者に配付)
<放射能教育用OHPセット> (アイソトープ協会) (希望者に配付)

28-31 応用物理学会 (東京)

30-4/2 物理学会

4月 「日本におけるフランス年」行事の開始

8-11 放射線技術学会 (神戸)

9-11 医学放射線学会 (神戸)

5月

14-16 日本保健物理学会 (浜松市)

22-23 乳癌学会 (東京)

6月

10-12 頸頸部腫瘍学会 (名古屋市)

18-19 微量元素学会 (札幌市)

19-20 小児放射線学会 (神戸)

29-7/1 理工学のための同位元素研究発表会 (東京・国立教育会館)

7月

10-11 放射線による制がんシンポジウム (東京)

13 [Po発見(最初の記録)の日]

下旬(1週間) 青少年のための科学の祭典 全国大会 (東京、科学技術館)

7~8月(数日間) 青少年のための科学の祭典 地方大会 (各地の科学館)

8月

下旬-9月上旬 キュリー祭 (鳥取県三朝温泉)

9月

16-18 放射化学討論会 (化学会、仙台)

20-22 医学物理学会/放射線医学物理学会 (茨城)

26 (土) 第8回コンピュータ支援画像診断学会 (大会長 飯沼 武)
- Ra 発見100周年記念講演 館野之男 -

10月

1 (木) 癌学会総会 キュリー100記念シンポジウム (横浜)

3-6 物理学会 秋の分科会 (素粒子・原子核・宇宙線) (秋田)

5-6 放射線学会秋季大会 (東京)

6-9 癌治療学会 (福岡)

21-27 ラジウム週間 (科学技術館、東京)

24 (土) 記念講演会 (東京、日医理工科会+Ra100事業委員会)

26 (月) 原子力の日

29-31 放射線技術学会秋季大会 (札幌)

11月

12-14 放射線取扱主任者部会年次大会 (博多、アイソトープ協会)
中旬 核医学会 (香川県)

15-30 キュリー夫妻科学展 (浜松市=ワルシャワの姉妹都市)

17 (火) フランスの放射能発見100年記念式典 (パリ)

20-22 放射線看護学会 (群馬)

27日 (金) Ra 100記念式典 (東京、Ra100記念事業委員会)

12月

8-10 アイソトープ・放射線総合会議 (東京)
(原子力産業会議、アイソトープ協会、原子力学会 共催)

11 (金) 医療放射線防護連絡協議会年次大会 (東京)

11-14 放射線教育に関する国際シンポジウム (湘南国際村)

18 [Ra 発見 (最初の記録) の日]

21 (月) 「未来をひらく化学の世界」講演会 (化学会) (東京・東大安山講堂)
- キュリー夫妻ラジウム発見100周年記念 -

< Ra 発見100周年記念論文集 >

「癌の臨床」、「臨床放射線」、「放射線科学」、「放射線医学物理」

「インナービジョン」、「化学と工業」、「化学と教育」

< 尾内徳夫著「ラジウム物語 (仮題)」 (新書版) >

1999年

1月20-22 ラジウムとトリウムの国際会議 (東京)

予算案

収入の部

1. 関連団体寄付金	17,000,000	
2. 関連学会寄付金	5,000,000	⑧500,000 x 10 団体
3. 記念式典参加費	3,000,000	⑩10,000 x 300 名
合計	25,000,000	円

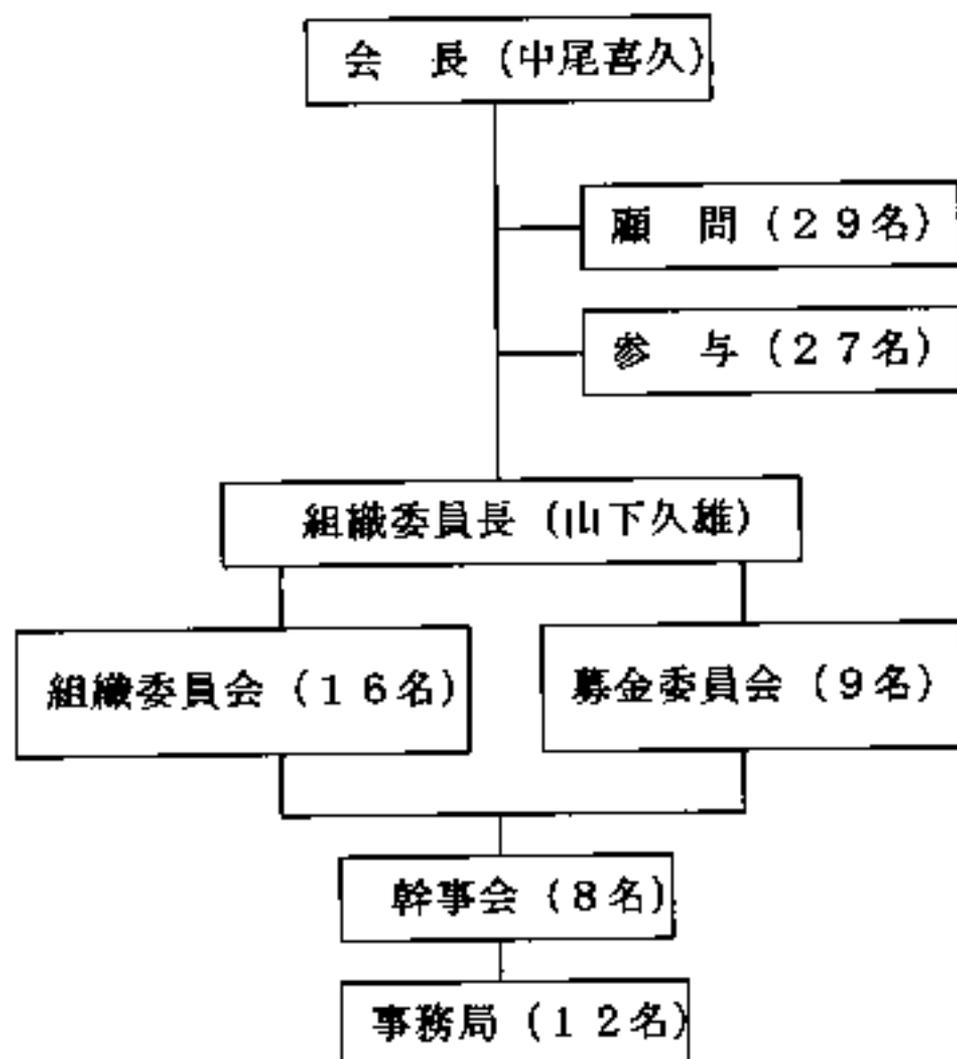
支出の部

1. 会議・事業準備費	6,000,000	
1) 事務局人件費	3,000,000	⑩15,000 x 100 日 x 2 名
2) 通信費	1,000,000	電話設置・趣意書等発送経費
3) 印刷費	1,000,000	ロゴマーク, ポスター, 封筒等
4) 会合費	500,000	幹事会・委員会会合費用
5) 旅費交通費	300,000	組織委員会・幹事会
6) 消耗品費	200,000	
2. キャンペーン費用	5,500,000	
1) 新聞等の記事配信	1,500,000	取材費
	500,000	取材旅費
2) 小冊子の作成	1,000,000	企画デザイン料
(8 万部)	1,500,000	印刷費
	500,000	配布費用
3) インターネット		
ホームページ作成	500,000	
3. 学術関係実施費用	7,500,000	
1) ラジウム治療の歴史資料	500,000	印刷費用
2) 記念ビデオの作成	4,000,000	ビデオ制作会社支払い
と配布	1,000,000	資料収集費用 (版權料含む)
	2,000,000	ビデオダビング費用 (500 本)
4. 記念式典費用	6,000,000	
1) 会場支払い分	4,000,000	
2) 式典案内費用	300,000	
3) 記念品代	1,000,000	
4) 旅費交通費	300,000	
5) その他	400,000	

合計 25,000,000 円

キュリー夫妻ラジウム発見100周年記念事業委員会

組 織 図



(1998年1月14日)

キュリー夫妻ラジウム発見
100周年記念事業委員会名簿

会 長

中尾喜久 日本アイソトープ協会会長
自治医科大学名誉学長

組織委員会委員長

山下久雄 慶応がんセンター名誉所長
元慶応義塾大学教授

願 問 (敬称略、五十音順)

阿部 薰
 阿部 光幸
 有馬 朗人
 飯島 宗一
 伊藤 正男
 梅沢 邦臣
 江崎 玲於奈
 尾形 悦郎
 片山 仁子
 数野 美つ子
 加藤 富三
 日下 敏之
 熊坂 井勝
 猿村 隆
 杉久 史磨
 高宅 豊三
 武見 敬雅
 土屋 井栄
 坪島 久真
 豊平 岩外
 平尾 泰男
 藤城 保男
 松平 寛通
 森倉 亘
 吉沢 富美子

国立がんセンター 総長
 国立京都病院長
 国立化学研究所 理事長
 名古屋文化会館 館長
 前日本文学術会 議長
 原力安全技術 センター 会長
 筑波大学 学長
 癌研究会 附属 病院長
 順天堂大学 学長、日本医学放射線学会
 日本女性科学者 の 会長 総務理事
 前日仏放射線 医学会 会長
 参議院 議員
 元放射線 医学 総合 研究所 長
 日地球化学 研究会 協 会 専 務 理 事
 国立がんセンター 学 長 名 譽 総 長
 自治医科 大学 学 長
 日本画像医療 システム 工業 会 会 長
 参議院 議員、 長
 日仏医学会 会長
 日本医師会 会長
 大阪成人病 センター 総 長
 がん研究 振興 財 団 会 長
 前放射線 医学 総合 研究所 長
 東京電力病院 院長
 前新技術 開発 事業 団 理 事 長
 日本医学 会 長、 科 学 技 術 会 議 員
 東京大 学 教 授
 慶応 義 塾 大 学 教 授

参 与 (敬称略、五十音順、予定者を含む)

荒谷美智	環境科学技術研究所
池田正道	日本アイソトープ協会 学術部長
井上俊彦	大阪大学 教授
梅垣洋一	元 癌研究会 附属病院 放射線科 部長
柄川順一郎	前 国立がんセンター 放射線治療科 部長
大島美恵子	国立国際医療センター 研究所
大尾内能夫	前 癌研究会 物理部 部長
金田浩一	前 癌研究会 附属病院 放射線科 部長
鎌田七男	広島大学 原爆放射能医学研究所 所長
北川知行	癌研究会 放射線学会 会長 (平成9年度)
河野通雄	日本医学放射線学会 会長 (平成9年度)
小西淳二	日本核医学会 会長 (平成9年度)
小坂本俊	日本原子力産業会議 理事
佐々木正子	京都大学 放射線生物研究センター 長
品田和正	日本核医学会 会長 (平成10年度)
品田ノ岡宏	前 国立がんセンター 研究所 部長
長岡俊雄	電気事業連合会 広報部長
中島聰重	癌研究会 附属病院 副院長
西瀧重信	放射線影響研究所 理事長
橋本省三	癌研究会 附属病院 名誉顧問
平松京一	日本放射線医学会 会長 (平成10年度)
福田武	癌研究会 常務理事
福松辰男	放射線教育フォーラム 総務幹事
薬師寺道明	日本癌治療学会 会長 (平成10年度)
山本康典	日本原子力文化振興財団 理事

組織委員会 (敬称略)

山下久雄
菅野晴夫
飯沼武
伊藤彬
梅澤喜夫
餌取章男
河田燕
日下部きよ子
久保敦司
小泉英明
佐々木康人
舘野之男
永井輝夫
新部英男
平林久枝
山下孝

慶応がんセンター名誉所長 (委員長)
癌研究会癌化学療法センター所長 (副委員長)
埼玉工業大学教授
癌研究会癌研究所物理部長
東京大学教授
日本科学技術振興財団理事
成蹊大学教授
東京女子医科大学教授
慶応義塾大学教授
日立中央研究所主管研究員
放射線医学総合研究所長
放射線医学総合研究所特別研究員
日本アイソトープ協会常務理事
群馬大学教授
東京女子医科大学放射線部総技師長
癌研究会附属病院放射線科部長

募金委員会 (敬称略)

山下久雄
佐々木康人
久保敦司
飯沼武
伊藤彬
小泉英明
永井輝夫
新部英男
山下孝

慶応がんセンター名誉所長 (委員長)
放射線医学総合研究所長 (副委員長)
慶応義塾大学教授 (副委員長)
埼玉工業大学教授
癌研究会癌研究所物理部部長
日立中央研究所主管研究員
日本アイソトープ協会常務理事
群馬大学教授
癌研究会附属病院放射線科部長

幹事会 (敬称略)

山下 孝	癌研究会附属病院放射線科部長 (総務)
飯沼 武	埼玉工業大学基礎工学課程教授
伊藤 彬	癌研究会癌研究所物理部長
久保 敦司	慶応義塾大学医学部放射線科教授
小泉 英明	日立中央研究所主管研究員
菅野 晴夫	癌研究会癌化学療法センター所長
館野 之男	放射線医学総合研究所特別研究員
永井 輝夫	日本アイソトープ協会常務理事

事務局 (敬称略)

伊藤 彬	癌研究会癌研究所物理部 (事務局長)
池島 豊	癌研究会附属病院放射線部
石川 雄一	癌研究会癌研究所病理部
内田 勲	癌研究会癌研究所物理部
桑原 秋夫	癌研究会附属病院放射線部
三宮 敏和	慶応義塾大学病院中央放射線技術室
鈴木 昌義	癌研究会事務局総務課
古川 雅彦	癌研究会附属病院放射線科
松島 精一	放射線科専門医会
宮司 洋子	癌研究会附属病院放射線科
山田 恵子	癌研究会附属病院放射線科
山下 孝	癌研究会附属病院放射線科
遊佐 顕	癌研究会癌研究所物理部

連絡先

〒170-8455 東京都豊島区上池袋1-37-1
キューリー夫妻ラジウム発見100周年記念事業委員会
(財)癌研究会附属病院 山下 孝
電話 : (03)5394-3956
FAX : (03)5394-3957
電子メール : ra100@jfer.or.jp
ホームページ : <http://www.jfer.or.jp/Ra100/>